

# 石のひっじ だより

## 平尾台の周辺歩き 鬼の木戸盆地

今回は、平尾台上にある鬼の木戸盆地の紹介です。ここは平尾集落の西側にあり、幾つかのドリーネが集まったウパーレです。ここからは、縄文土器や土師器などが、多数出土しています。最近、この盆地内に迷路カルスト③と呼ばれる特異な地形が存在する事がわかりました。自然状態で発見されたのは日本では初めてとの事。迷路カルストは、幅数m、深さ数mから数十mの石灰岩の谷が複雑に連結して、迷路状に発達した地形です。世界的にはアフリカ(マダガスカル)のツィンギが有名です。鬼の木戸盆地内の分布は100m×100mの狭い範囲にあり、総延長は約300mです。迷路カルストの近くには鬼の木戸洞④と呼ばれる鍾乳洞があり、7～8mの壁状カレンの基部に開口しています。洞口標高406m、総延長24m、高度差7m。幅が1m程で、奥に行くほど狭くなります。鬼の木戸盆地一帯は、鉱山区域なので一般の方は入ることは出来ません。



観察センターより  
西方向に約600m

## ☆ イベント報告 ☆

### 「落ち葉アート」11月30日(水)

事前に準備しておいた落ち葉と木の実に自由に工作を楽しみました。また、センターの檜の木のどんぐり拾いもしました。自由な発想で様々な作品を作っていましたが、特にドングリのトコロが人気で、イタドリ茎などの素材も上手に使っていました。昼食後は、神社の森を散策し、落ち葉などを観察しました。「工作と散策の両方が体験出来て楽しかった。」「親子で一緒に作れてよかった。」等の感想を頂きました。また、今回の作品の一部を展示しました。(参加者:一般18人、ボランティア3人、スタッフ2人)



### 「ミニ門松作り」12月21日(日)

参加者は竹を切る事が初めての方が多く、自分で加工をして世界に一つしかない作品を作れた事に大変喜びを感じておられました。中には、作品をスタッフやボランティアに得意になって見せているお子さんもいました。竹の切り出しや加工、材料集めなどの準備に苦労しましたが、参加者の満足した楽しそうな笑顔が沢山見られたので報われた思いがしました。ボランティアの皆さんには竹きりや剪定バサミのご指導や補助をして頂き、特に準備段階から協力して頂いたボランティアの方々には、大変ご苦労をお掛けしました。ありがとうございました。(参加者:一般42人、ボランティア5人、スタッフ2人)



## ☆ イベント情報 ☆

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日:平成21年1月16日(金)  
時間:10:00～16:00  
対象:一般10名(材料費:2,000円)  
〆切:1月9日(金)

### ● ドリーネハイキング

冬のドリーネの中に降りて地形・植物を観察してみよう。  
開催日:平成21年1月25日(日)  
時間:9:30～15:00  
定員:20名  
〆切:1月18日(日) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● 平尾台野草写真展

平尾台自然の郷で活動している「野草勉強会」の皆さんが撮影された平尾台の野草写真約60点を展示。

開催日:1月4日(日)～3月1日(日)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所:センター1F展示室



## 野の花スケッチ

今月はヤブコウジ(藪柑子)  
(ヤブコウジ科ヤブコウジ属)

花は7～8月に咲きますが、白っぽい小さな花で目立ちません。殆ど彩りのない一月の平尾台では、主に林内で5、6ミリの赤い実が光っています。藪柑子とは藪に生えるミカンという意味で、葉の形と果実がミカンに似ていることによるそうです。昔から縁起のよい植物として知られています。この仲間にマンリョウ、カラタバナがあります。これらもやはり今の時期に赤い実をつけています。(進藤)



## 枯野めぐり

撮影:12月19日

冬枯れの平尾台、この時期の草原は、ススキやネザサ、そして花の種などの渋い色彩のグラデーションが、味わい深く美しい。春から秋にかけての華やかさとは一味違う、静かな表情がとてもいい。ネザサが緑から黄色そして枯れ草色へと変化している様が混在し、それらを遠くから見ると、その色彩が山肌の陰影や植生によって少しずつ変化している。それが転々と配置された石灰岩の白と競演している。写真にするとのっぺらぼうになりがちな風景も、肉眼で見ると小さな変化が分り、とても面白い。自然と人間が紡ぎだしたふかふかの絨毯を愛でに来る方は、平尾台通と言える。人気の少なくなった平尾台は、静けさの中で野鳥の声や風の音を感じることでできる数少ない場所である。皆さんも、平尾台でお気に入りの場所を見つけ、枯野の達人になって欲しい。

# 石のひっじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

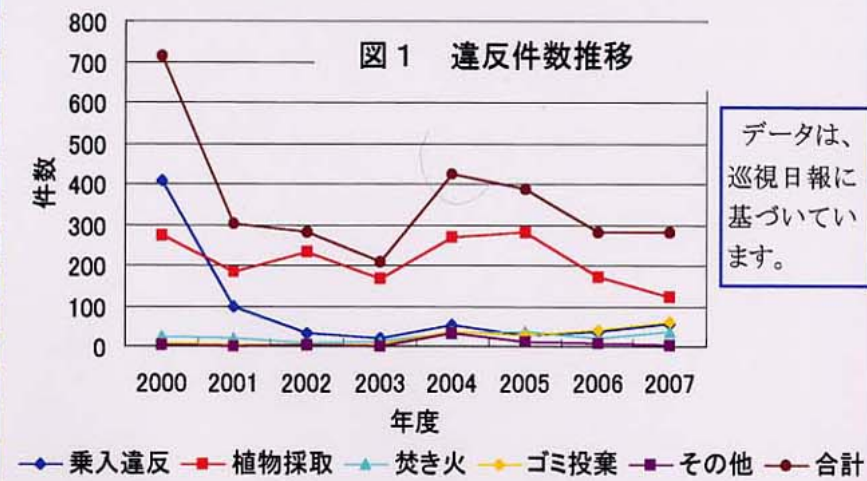
## 平尾台の周辺歩き 長野（小倉南区）

今回は、小倉南区長野地区の長野城址と岩海を訪ねました。長野緑地公園駐車場を起点にすると往復約5kmです。長野林道をのんびり登っていくと1時間ほどで長野城址への案内板①があり、程なく本丸跡②へ出ます。平安時代の保元2年(1157)平氏の一族長野氏によって築城され、今残っているのは戦国時代末期のもの。全国的にも珍しい畝状堅堀③(約200本)があります。下りは大谷の岩海⑥沿いに歩きます。途中、洞窟(大谷平成洞⑦)も観られます。ここの岩海は、約1億年前の火山活動で出来た平尾花こう閃緑岩が節理に沿って風化し、残ったコアストーンが谷を埋めたもので、岩海の生成は約5万年前から、洞窟は5千年前から形成されたと考えられています。洞窟内では、洞窟珊瑚(非晶質シリカ)や新種の洞窟性生物も数種発見されています。



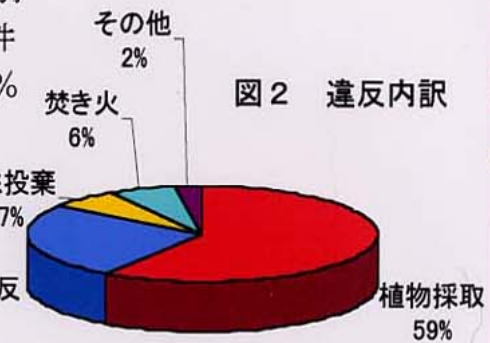
## パトロールだより

観察センターがオープンした2000年から2007年度までの巡視業務における自然公園法の違反状況を、2回に分けて報告します。



データは、巡視日報に基づいています。

図1は、違反件数の年度別推移です。トータルの違反件数は2000年度に比べ約40%まで減少しています。特に乗入違反は約20%まで減りパトロールの効果が表れています。しかし、ゴミ投棄は26%、植物採取は59%、焚き火は6%、乗入違反は7%、その他は2%です。図2は、8年間トータルでの違反件数内訳です。約60%は植物採取です。減少傾向ではありますが、自分本意の野草採取が絶えません。これらは氷山の一角であり、パトロールの目の届かない所での被害も大きいと思われます。



## ★イベント情報★

●**アートフラワー講座**  
平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日：平成21年2月20日(金)  
時間：10:00～16:00  
対象：一般10名(材料費：2,000円)  
〆切：2月13日(金)

●**平尾台絶景ハイキング**  
冬の平尾台の雄大な景色を楽しむハイキングです。  
開催日：平成21年2月22日(日)  
時間：9:30～15:00  
定員：30名  
〆切：2月15日(日) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●**平尾台野草写真展**  
平尾台自然の郷で活動している「野草勉強会」の皆さんが撮影された平尾台の野草写真60点を展示。  
開催日：1月4日(日)～3月1日(日)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所：センター1F展示室

## 自然観察ガイド ボランティア募集

【内容】センター及び平尾台周辺にて  
①センター主催イベントのガイド  
②教育関係や団体等のガイド  
【資格等】  
①18歳以上。平尾台に車で来れる方  
②自然が好きで、自然を大切にする方  
動物(昆虫、野鳥等)、植物、キノコや地質等が好きな方(経験不問)。  
【研修】ボランティア研修や実践を通してガイドをします。  
【受付】随時。面接あり。  
【詳細】センターにお問合せ下さい。



## 野の花スケッチ

フキ(蔞) (キク科フキ属)

一年のうちでもっとも寒い時期になりました。フキの若い花茎がフキノトウです。2月の終り頃、南の日があたる道端などに気の早いものはチラホラ、丸い頭をもたげてきます。フキは雌雄別株で白っぽい頭花(花の集まり)は雌株で、黄色っぽい頭花は雄株です。雌株は花後花茎が45センチほどに伸びて種をつけます。葉は花の咲いた後に地下茎の先から出てきます。草丈は生育場所にもよりますが、60センチほどになる物もあります。この季節、フキノトウを見つけるとなんだか嬉しくなりますね。早く春が来ないかな♪。(進藤)



## 雪野めぐり

撮影:1月14日

冬は平尾台を訪れる人が激減します。センター周辺(標高350m)でも、時には20cmを超える積雪があります。交通規制が掛かると車も人影も極端に少なくなり、静寂の世界が広がります。石灰岩のピナクルや枯れ残った花穂に積った雪が作る造形は、モトーンで統一された落ち着いた美しさがあります。草原にノウサギやテンなどの足跡が続いていると、可愛い姿を想像し思わず微笑んでしまい、何だか得をした気分です。



# 石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

## 平尾台の周辺歩き 胸の観音 (みやこ町)

胸の観音①は、観音山（鹿ヶ峰）②の中腹にある観音堂のことで、昔は等覚寺（苅田町）の山伏が峰入りしていた霊場で『峰の観音』と呼ばれていましたが、明治以降、胸の病にご利益がある観音様『胸の観音』と呼ばれるようになりました。黒田神社⑤のわきから狭い車道があり、駐車場から観音堂までは、急な坂道と階段です。観音堂の無料休憩所からは、御所ヶ岳や犬ヶ岳方面が一望できます。奥の院付近には平尾花崗閃緑岩が風化して出来た岩海③があり、累々と谷を埋めています。観音山山頂②からは東南方面が一部見渡せませんが北側の平尾台は樹木で覆われ展望がありません。北側山麓には、胸の観音ゆかりの袂水④が湧き出ています。黒田神社⑤は疫病退散を祈願した黒田楽（にわとり楽）が300年以上続いており、春の神幸祭で奉納されます。拝殿には、極彩色の絵馬や武者絵などが飾られています。



## ☆ イベント報告 ☆

### 「絶景ハイキング」2月22日(日)

今にも雨が降り出しそうな中、三班に分かれて出発。コースは、センター～裏山（川ドリ～ネ展望）～千貫岩～三笠台～大かんの台～風神山～不動坂～センター。遠く英彦山や国東半島は見えませんが、平尾台周辺は何とか展望がありました。三笠台の大展望や風神山あたりの地の果てから千仏谷や天狗岩の絶景を満喫していました。しかし、途中から雨模様でコースを短縮し、センター内で昼食。希望者にはハイビジョンシアターを上映しました。今回のコースを歩いた事がない方も多く、景観の良さを喜んでおられました。「雨もまた良し」との声もあり救われた思いでした。（参加者：一般33人、ボランティア8人、スタッフ1人）



## ☆ イベント情報 ☆

### ● 観光鍾乳洞めぐり

平尾台の観光鍾乳洞（千仏・目白・牡鹿）を歩いて巡ろう！

開催日：平成21年3月15日(日)

時間：9:00～16:00

定員：40名（小学生以上）

料金：高校生以上900円、小中学生600円

（※三観光洞合計の料金）

〆切：3月8日(日) 必着

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。

開催日：平成21年3月20日(金)

時間：10:00～16:00

対象：一般10名(材料費：2,000円)

〆切：3月13日(金)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● 平尾台野焼き写真展

センタースタッフが撮影した野焼き写真展  
展示数：約30点

開催日：3月3日(火)～3月29日(日)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで

場所：センター1F展示室

## 平尾台クリーン大作戦!

毎年恒例のクリーン大作戦。今年も皆で平尾台をキレイにしよう!!

開催日：平成21年3月28日(土) ※雨天時は翌29日に順延。

時間：10:00～13:00

★クリーン大作戦の応募は往復ハガキの他、TEL・FAX・Eメールでも受け付けます！（メール：hiraodai@cronos.ocn.ne.jp）

★申込締切：3月21日(土) ※当日参加も受け付けます!!



## パトロールだより

観察センターがオープンした2000年から2007年度までの巡視業務における自然公園法の違反状況を前号に引き続き報告します。

図1は、植物採取の8年間トータルの月別推移です。4、5月に突出していますが、これはワラビ等の山菜採りです。伝統的な慣習など微妙な問題を含んでおり難しい所ですが、遠くから来られ大量に採取して、知らずに野草を踏みじめる方もおられます。シーズン中、特別保護地区には注意看板を設置する事で近年は多少減少しています。春と秋は花を採取する方が多くなり、悪質な業者等はパトロールの目を掻い潜って採取しています。図2は、乗入違反の月別推移です。特に野焼き後の春と夏に多く、梅雨と冬季は減少しています。

データは、巡視日報に基づいています。



図3は、ゴミ投棄の月別推移です。お盆の時期や年末年始、転勤などの引越しシーズンに大型ゴミが捨てられる傾向にあるようです。各種リサイクル法の施行前後には投棄が多くなります。大型ゴミは、夜間に車を止め易く人目につき難い場所に捨てられています。人出の多いシーズンは食品包装紙や空き缶等が多くなりますが、些少なゴミは件数に反映されていません。

## 野の花スケッチ

### スズシロソウ (アブラナ科ヤマハタザオ属)

山地の湿ったところに生える多年草で、高さ10～25cmになり、花後に基部から長い葡枝（ランナー）を出します。平尾台での花期は2月～5月です。花びらが4枚で、長さが7～10mmの白い花を咲かせます。花はアブラナ科特有の十字型をして、ユリワサビやヤマハタザオによく似た花です。花がスズシロ（大根の別称）の花に似ているので、スズシロソウと呼ばれています。平尾台のドリ～ネの中や、あまり陽のあたらないピナクルの割れ目にくっついて咲いている株もあります。（進藤）



# 石のひっじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

## 地域行事 野焼き 3月8日（日）

今年は、前々日の午前中まで雨が残り、枯れ草の乾燥がいまいちだったため、かなりの焼け残りが目立ちました。例年、観察センターの3階屋上に消防本部が置かれます。地域の行政・消防・自衛隊や野焼き従事者が連携（野焼き委員会）し、事故が発生しないように万全の体制で野

焼きに臨みます。当日は交通・立入規制が行われ、フィールドへの立ち入りが制限されます。野焼きの見学は、事前募集した茶ヶ床園地の特別見学会と平尾台自然の郷からの見学のみにとなります。野焼き後の草原には既にスマレなどの野草が咲き始めています。

午後からの野焼き  
（観察センター裏）



野焼き見学会  
（茶ヶ床園地）



野焼き（茶ヶ床）



野焼き後の平尾台



## 野草園だより



ヒトリシズカ



オキナグサ

左の花はどちらも昨年は4月3日、今年は3月20日に開花しました。今年は3月に入って気温が高く、他の草花の開花も早くなっています。

## ☆ イベント報告 ☆

### 「観光鍾乳洞めぐり」2月22日（日）

前々日からの荒天が嘘のような穏やかなポカポカ陽気の中、野焼き後のフィールドを歩いて、三つの観光鍾乳洞（千仏鍾乳洞→目白洞→牡鹿洞）をめぐりました。7割が家族連れで、9割の方が平尾台の鍾乳洞に入るのが初めてでした。野焼きで石灰岩がハッキリと現れ、カルスト地形のドリーネやピナクルなどが良く観察出来ました。オニシバリや、スズシロソウなどの春の野草も楽しみました。千仏鍾乳洞は、途中か



千仏鍾乳洞



地下川



水平天井

牡鹿洞

ら地下川の冷たい水の中を歩きました。目白洞は、敷地内で昼食後入洞しました。よく発達した鍾乳石や水平天井に関心していました。牡鹿洞では、冬眠中のキクガシラコウモリの集団が天井にぶら下っており、興味津々な様子でした。参加者からは「一日で三つの洞窟に入れ、それぞれの違いが分かり楽しかった。」と好評でした。（参加者：一般36人、ボランティア9人、スタッフ2人）

キクガシラコウモリ

### ● スミシ観察会

春の草原に咲くスマレを観察します。  
開催日：平成21年4月12日（日）  
時間：9:30～12:00  
定員：20名  
〆切：4月5日（日）必着

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日：平成21年4月17日（金）  
時間：10:00～16:00  
対象：一般10名（材料費：2,000円）  
〆切：4月10日（金）

### ● 大平山ハイキング

カルスト地形と春の野草を観察する新緑ハイキングです。  
開催日：平成21年4月29日（水・祝）  
時間：9:30～15:00  
定員：30名  
〆切：4月22日（水）必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● 春の野草写真展

センターボランティア荒木猛夫さんが撮影した毎年恒例の野草写真展  
展示数：50点  
開催日：4月1日（水）～5月31日（日）  
（9:00～17:00）※入館16:30まで  
場所：センター1F展示室

### 小倉南美術協会工芸部

#### 制作フラワー展

当センターで毎月開催しているアートフラワー講座の山岸三代子先生と野の花の会が制作したアートフラワー作品展  
展示数：50点（平尾台の野草他）  
開催日：4月18日（土）～4月26日（土）  
（9:00～17:00）※入館16:30まで  
場所：小倉南区生涯学習センター  
二階ギャラリー&展示コーナー

## 野の花スケッチ

ホタルカズラ（ムラサキ科イヌムラサキ属） 蛍蔓

やや乾いた草原に多く、海岸近くから山の草原まで所々で見かけます。ここ平尾台では比較的多く見られます。

花の直径は1.5cmほどで、青紫色の花を咲かせます。緑の草原の所々にホタルが光を放っている様に見えることからホタルカズラの名前がついたようです。平尾台では4月から5月にかけて花を咲かせます。葉や茎には粗い毛が生え、ザラザラした感じがします。花後に基部から茎が横にはい、そこから根を出し増えていきます。春の平尾台で、是非見てほしい花の一つです。  
（進藤）



N. Shindo

## 平尾台の生きもの

### エリスジグロシロチョウ

シロチョウ科

食草：アブラナ科（コンロンソウ、スズシロソウ等）  
発生：3月下旬～10月 蛹で越冬。前翅長：18mm～32mm。  
分布：北海道、本州、四国、九州



平尾台ではスズシロソウに

発生しています。年によって発生する個体数の変動が大きく、今年は3月17日に飛び回っている個体を約6頭観察しました。日当たりが良い食草付近を盛んに飛び回り、スズシロソウやスマレ等の花で吸蜜していました。

# 石のひっじ だより

## 茶ヶ床園地リニューアルオープン

2008年度に公園整備が行われたので紹介します。(3月末竣工)

四つあるベンチにそれぞれ屋根を取り付け東屋に変身。日除けの少ない平尾台に憩いのオアシスが登場！園地へは車椅子でも上れるようにスロープに変更されています。旧トイレのあった場所にベンチが二つ新設され、分り易い平尾台案内板も設置されました。



新設トイレは水洗式で、し尿を流す水は処理槽で浄化(微生物→カキ殻→活性炭)後、再利用しています。手洗い水は浸透枳により排水します。車椅子にも対応！

木漏れ日が優しいベンチで一休み！新しい案内板でルートを確認して散策しよう！



九州自然歩道の案内標識もリニューアルされて、より分り易くなったよ！



国定公園の制札も一部が変更されたよ。一緒にマナーを守ろうね！



## ☆ イベント報告 ☆

### 「クリーン大作戦2009」3月28日(土)



開会式では小倉南区 神崎区長の挨拶を頂き、10時半からセンター起点で5コースに別れてゴミ拾いをしました。参加者は地元企業59名、平尾町内16名、一般31名、ボランティアスタッフ19名。回収ゴミは、軽トラック2台分(缶ビンの他に、タイヤ4本、コタツ1台、家電製品など)。ゴミは年々減少しています。最後に、皆でぜんざいを食べ12時前に閉会しました。(参加者：一般106人、ボランティア19人、スタッフ3人)

### 「スマレ観察会」4月12日(日)

今回はスマレ入門として、三班に分かれて観察を行いました。コースは、山神社～深窪～平尾の森の防火帯を時計回りで歩きました。今年は開花が早く既に花期の終わりに近い種類もありました。それでも平尾台に生えている約半分の7種類が確認できました。ボランティアの方がスマレの名前の由来となった大工道具の墨入れを持参して頂き、好評でした。(参加者：一般34人、ボランティア6人、スタッフ1人)



## ☆ イベント情報 ☆

### ●シラン観察ハイキング

紫蘭など春の野草を観察しながらハイキング  
開催日：平成21年5月13日(水)  
時間：10:00～15:00  
定員：20名  
〆切：5月6日(水)必着  
(※おでかけ交通対応イベント)

### ●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日：平成21年5月15日(金)  
時間：10:00～16:00  
対象：一般10名(材料費：2,000円)  
〆切：5月8日(金)

### ●平尾台春の虫観察

平尾台で見られる春の虫を観察します。  
開催日：平成21年5月17日(日)  
時間：9:30～15:00  
定員：20名(※小学生以上)  
〆切：5月10日(日)必着

### ●初夏の野鳥観察会

カッコウなどの初夏の野鳥をのんびり観察します。  
開催日：平成21年5月31日(日)  
時間：8:30～12:00  
定員：20名  
〆切：5月24日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ●春の野草写真展

センターボランティア荒木猛夫さんが撮影した毎年恒例の野草写真展  
展示数：50点  
開催日：4月1日(水)～5月31日(日)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所：センター1F展示室



撮影  
4月21日

## 野の花スケッチ

キンラン (ラン科キンラン属) 金蘭

草丈30～70センチの多年草で、4月～5月に黄色の花を茎の先に3～12個付けます。花は半開きで完全に開かないものが多いです。唇弁は内側に赤い筋が入っています。林の下で、木漏れ日を浴びて咲いているキンランの花は金色に輝いている様です。平尾台ではあまり見かけませんが、見つけたら大切に見守って下さいね。

(進藤)

RDB(環境省)絶滅危惧Ⅱ、(福岡県)絶滅危惧Ⅱ  
北九州国定公園指定植物



## 平尾台の生きもの

### ホタルカミキリ カミキリムシ科ホタルカミキ属

寄生植物：ネムノキ、クヌギ、クワなど  
発生時期：4月～7月 成虫で越冬 体長：7mm～10mm  
分布：北海道、本州、四国、九州

ネムノキの枯れ木に好んで集まり、各種花にも集まる。産卵から成虫までの期間が約3ヶ月と短期間で羽化する。平尾台にはネムノキが多く、本種は比較的好く見かけます。写真は、センター野草園のカノコソウにいた個体。

# 石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

## 平尾台の絶景 貝殻山

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載します。

今回は、登山者の殆どいない貝殻山の山頂からの景色を紹介します。



南西方面：断崖景勝の地の果て



北東方面：展望抜群の周防台  
空気が澄むと四国が見える時もある。



北方面：最高峰の貫山  
標高 711.6m



南東方面：田川変成岩の天狗岩



センターから東へ約1.6km、40分程で山頂に立えます。貝殻山は千仏鍾乳洞への車道から登れますが、道はかなり不明瞭です。平尾台全体が見渡せません。特に芳ヶ谷越しの周防台から天狗岩への山並みと千仏谷西側の地の果ての景観は素晴らしい。

## 野の花スケッチ

トキソウ (ラン科トキソウ属) 朱鷲草

日当たりの良い湿地に生える多年草。草丈は10～30cmで、ふつう葉は一枚で、花の下に付く小さな葉は苞葉です。花色が鳥の朱鷲の羽色に似ていることから、この名前が付いたそうです。唇弁の内面や縁に突起が密生しています。いつまでも平尾台にトキソウが咲いていて、私達をときめかせ続けてほしいものです。

(進藤)

RDB(環境省)絶滅危惧Ⅱ、(福岡県)絶滅危惧ⅠA  
北九州国定公園指定植物



## ☆ イベント報告 ☆

### 「クリーン小作戦2009」4月26日(日)

ボランティアからの提案で実施されたイベント。以前から不法投棄の絶えない県道28号線小倉側26番カーブ付近の崖下に投棄されたゴミを、ザイルやロープを駆使して回収しました。回収ゴミはタイヤ3本、テレビ、パソコン、電子レンジなど軽トラック2台分。タイヤなどの重量物を引揚げるのに苦労しました。有志の努力で少しずつ平尾台もきれいになっています。しかし、未回収ゴミは、まだまだ大量に残っています。(参加者：ボランティア6人、スタッフ2人)



### 「大平山ハイキング」4月29日(水・祝)

毎年恒例の大平山ハイキング、今年も晴れて爽やかだったので、新緑をより楽しむ事が出来ました。セッカ、ヒバリ、ホオジロなどの囀り声を聞きながら、タカサゴソウ、カノコソウ、ホタルカズラなどの美しい春の野草を観察しました。また、石灰岩が侵食されて出来たピナクル群の造形の中に、動物の形や人の顔の表情を探しながらのんびりと平尾台を楽しみました。(参加者：一般34人、ボランティア6人、スタッフ1人)



ホタルカズラ



大平山の山頂

## 平尾台の生きもの

### キレンジャク ヒレンジャク

撮影  
4月30日



L20cm W32cm



L17cm W29cm

キレンジャクは、尾の先が黄色で、翼に白斑がある。ヒレンジャクは、尾の先が赤く、腹の中央が黄色で翼の模様異なる。

キレンジャクはユーラシアと北米大陸東部の亜寒帯で繁殖、ヒレンジャクはアムール川下流の狭い地域で繁殖します。日本には冬鳥として飛来。平尾台にも多いヤドリギの実を特に好む。4月上旬から中旬にかけてキレンジャクの混じったヒレンジャクの群れがキツタやヤドリギの実を食べにやって来た時は、野鳥好きの方々が望遠レンズを構えていました。センターには4月29日より5月3日まで、イロハカエデの花を食べにキレンジャク2羽とヒレンジャク1羽が毎日やって来ました。

## ☆ イベント情報 ☆

### ● 草刈ボランティア

平尾台散策道の草刈整備  
開催日：平成21年6月の平日  
時間：9:00～12:00  
定員：10名  
〆切：5月24日(日) 必着

### ● トキソウ観察ハイキング

梅雨期の野草を観察しながらハイキング  
開催日：平成21年6月7日(日)  
時間：9:30～15:00  
定員：20名  
〆切：5月31日(日) 必着

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日：平成21年6月19日(金)  
時間：10:00～16:00  
対象：一般10名(材料費：2,000円)  
〆切：6月12日(金)

### ● きこの観察会

講師を招き、梅雨期のきこの種類や生態を観察します。  
開催日：平成21年6月21日(日)  
時間：9:30～14:00  
定員：30名  
〆切：6月14日(日) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● きこの写真展

福岡きこの友の会の皆さんが撮影した野生のこの写真展  
展示数：50点  
開催日：6月2日(月)～8月30日(日)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所：センター1Fエレベータホール

# 石のひっじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉7月は6日と13日の月曜日のみ

## 平尾台の絶景 鬼の唐手岩

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載中。

今回は、広谷台の西の端に位置する鬼の唐手岩からの景色を紹介します。



中峠側から見た鬼の唐手岩  
広谷台 鬼の唐手岩



四方台 貴山  
広谷  
北北西側：四方台～貴山

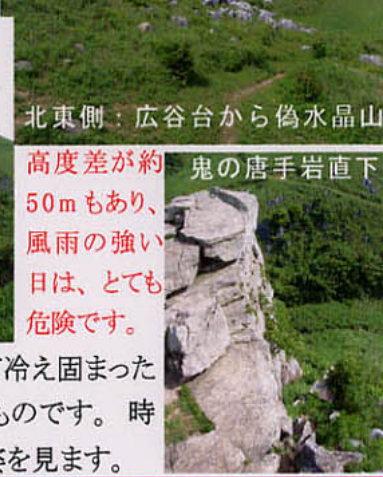


センターから東北東方向に約3km (60分)の行程です。茶ヶ床からは約1.6km (30分)。

広谷台周回コースも展望があり気持ちが良い。



南南東側：周防台から桶ヶ辻



北東側：広谷台から偽水晶山  
高度差が約50mもあり、風雨の強い日は、とても危険です。

鬼の唐手岩は、マグマが貫入して冷え固まった貫入岩（アプライト）が露出したものです。時折、ロッククライミングをしている姿を見ます。

## 野の花スケッチ

カセンソウ（キク科オグルマ属） 歌仙草

日当たりの良い草原に生える多年草。高さが60cm～80cmで6月下旬～8月に茎の上部が分岐して数個の鮮やかな黄色の頭花を上向きに咲かせます。

平尾台では、一本だけでなく、群生している事も多いです。この花が咲き出す7月の平尾台は本格的な夏となります。帽子をお忘れなくお越しください。

（進藤）

RDB（福岡県）絶滅危惧Ⅱ



N. Shindo

## ☆ イベント報告 ☆

### 「初夏の野鳥観察会」5月31日（日）

コースは、センター～不動山への農道～助佐穴（南側）～見晴台～東の辻（終点）～見晴台～助佐穴（北側）～センター。観察出来た野鳥は20種。特にカッコウ、キジ、セッカ、ヒバリ、ホオジロ、ホオアカはフィールドスコープでじっくり観察出来ました。カッコウとキジには感動した様子で、轉る姿を見れて良かったとの感想



が多くありました。野鳥の初心者が多く、とても好評でした。（参加者：一般9人、ボランティア4人、スタッフ2人）



ホオジロ

### 「トキソウ観察ハイキング」6月7日（日）

茶ヶ床起点で広谷湿原までの野草を観察しました。（草原）クララ、ヒメケフシグロ、ウツボグサ、ツレサギソウ、ヤマトキシソウ、オカウツボ、（湿地）トキソウ、コバトソウ（蕾）、モウセンゴケ（蕾）、ノハナショウブ（蕾）、（ドリーネ内）ウリノキ、バイカウツギなどを見つけました。約9割の方が、トキソウやヤマトキシソウ、オカウツボの花が初めてでした。「個人で歩いても見つけることが出来ない多くの花に出会えるので楽しい。」との感想を頂きました。

（参加者：一般21人、ボランティア7人、スタッフ1人）



## 平尾台の生きもの

5月10日



### オオカギバ

平尾集落の外れの道を歩いていると、ウリノキの葉の上で休んでいる、優しげなモノトーンの蛾を見つけました。辺りを見回すと、他にも数匹いました。

食草：ウリノキ 発生時期：5月～6月、8月～9月  
開長：55mm～65mm  
分布：北海道、本州、四国、九州、対馬、種子島

## ☆ イベント情報 ☆

### ●天狗岩ハイキング

周防台から天狗岩への展望ハイキング  
開催日：平成21年7月12日（日）  
時間：9:30～15:00  
定員：30名  
〆切：6月14日（日）必着

### ●アートつらつら講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日：平成21年7月17日（金）  
時間：10:00～16:00  
対象：一般10名（材料費：2,000円）  
〆切：6月12日（金）

### ●鍾乳洞探検（不動洞）

鍾乳洞の中を探検する初心者ケイビング  
開催日：平成21年7月26日（日）  
時間：9:30～15:00  
定員：20名（※小学4年生以上）  
参加費：高校生以上 1500円  
小・中学生 500円  
〆切：7月19日（日）必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ●生き物写真展

写真家・武田、西本、野村氏が撮影した「生き物」の写真を展示します。  
展示数：30点  
開催日：7月1日（水）～8月30日（日）  
（9:00～17:00）※入館16:30まで  
場所：センター1F展示室  
※「きのこ写真展」も同時開催しています。

## 日本の地質百選



「平尾台カルスト」が、日本の地質百選選定委員会より、2009年5月10日[地質の日]に、秋吉台などと共に地質百選（120箇所）に選定されました。福岡県では平尾台だけです。

# 石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号  
 TEL093-453-3737 FAX093-452-3739  
 ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>  
 〈開館時間〉9:00～17:00  
 〈休館日〉8月は休館日なし

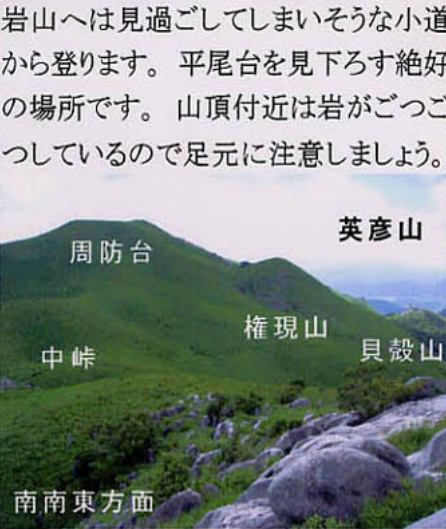
## 平尾台の絶景 岩山

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載中。

今回は、茶ヶ床の北東側に位置する岩山からの景色を紹介します。



上の写真は、中峠から四方台への稜線より見た岩山。石灰岩のピナクルに覆われ、石灰岩が雨水に溶かされて出来た大きな溝状のカレンが観察出来る。



## 野の花スケッチ

カワラナデシコ (ナデシコ科ナデシコ属) 河原撫子

ここ平尾台では6月下旬から9月まで次々と薄ピンクの花を咲かせます。

草丈は30～80cmで、茎や葉は細長く、きゃしゃな風情の多年草です。周りに生えているススキやネザサといっしょに8月の風に揺れています。カーネーションに似た香りがするのも隠れた魅力でしょうか。秋の七草の一つです。防火帯や登山道沿いで良く見かけます。

(進藤)



## ☆ イベント報告 ☆

### 「きのこ観察会」6月21日(日)

「福岡きのこ友の会」より講師を迎えて、梅雨期のきのこ観察を行いました。芦刈会長より、きのこのレクチャーをして頂き、三班に分かれて神社の森にきのこを求めて散策しました。入梅後、雨に恵まれなかったのですが、それでも24種(20種+不明4種)も見つける事ができました。また、「きのこ写真展」の解説もして頂きました。色んな形や色があり、きのこの役割やきのこの利用についても学べ貴重な体験になったようでした。(参加者:一般23人、講師3人(講師サポート5人)、ボランティア5人、スタッフ2人)



### 「天狗岩ハイキング」7月12日(日)

茶ヶ床を起点に、中峠～周防台～桶ヶ辻～天狗岩～芳ヶ谷を歩きました。天気は曇り時々晴で、心地良い風があり展望も良かったです。地質(石灰岩、田川変成岩、貫入岩(アブライト))や野草(カワラナデシコ、スズサイコ、コオニユリ、キキョウ、ヒオウギ)、キノコなどを観察しながら快適なハイキングとなりました。ボランティアの皆さんの丁寧で優しい説明に感謝しておられました。(参加者:一般23人、ボランティア12人、スタッフ1人)



## ☆ イベント情報 ☆

### ●ノヒメコリ観察ハイキング

夏の野草を観察しながらのハイキング。  
 開催日:平成21年8月9日(日)  
 時間:9:30～12:00  
 定員:20名  
 〆切:8月2日(日)必着

### ●ベルセウス座流星群観望会

流星群や惑星などの天体観測をします。  
 開催日:平成21年8月12日(水)  
 時間:19:00～22:30  
 定員:50名(※高校生以下保護者同伴)  
 駐車料:300円(1台)  
 〆切:8月5日(水)必着

### ●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
 開催日:平成21年8月21日(金)  
 時間:10:00～16:00  
 対象:一般10名(材料費:2,000円)  
 〆切:8月14日(金)

### ●平尾台 夏の虫観察

平尾台で見られる夏の虫を観察します。  
 開催日:平成21年8月23日(日)  
 時間:9:30～15:00  
 定員:20名(※小学生以上)  
 〆切:8月16日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
 ※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ●生き物写真展

写真家・武田、西本、野村氏が撮影した「生き物」の写真を展示します。

展示数:30点  
 開催日:7月1日(水)～8月30日(日)  
 (9:00～17:00) ※入館16:30まで  
 場所:センター1F展示室  
 ※「きのこ写真展」も同時開催しています。

## 平尾台の生きもの

キイロクチキムシ クチキムシ科 7月5日

桶ヶ辻の山頂に咲いていたカワラマツバの花にいました。花粉を食べているようです。その日は、天狗岩等でも数匹見ました。



幼虫の食べ物:朽木 発生時期:7月～8月  
 体長:11～14mm  
 分布:本州、四国、九州;中国

ニセリンゴガミキリ カミキリムシ科

センター野草園のスイカズラに止まって、葉を後食しているカミキリムシや交尾をしている個体がありました。調べるとニセリンゴガミキリでした。危険を感じると、ぽろっと下に落ちて身を隠します。

寄主植物:スイカズラ  
 発生時期:5月～7月  
 体長:14～17mm



分布:本州、四国、九州、香岐、五島

6月30日



# 石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

## 蝶トラップに集まった虫たち

2006年から2009年の夏(7月中旬～9月上旬)に当センター内に設置したトラップに集まった蝶を紹介します。

図1 科別内訳

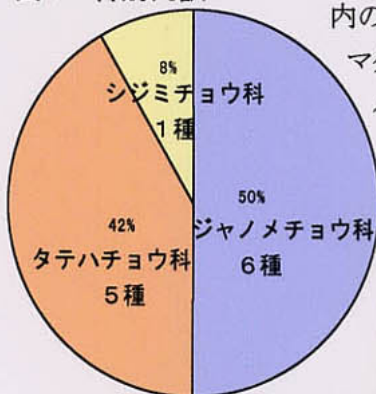
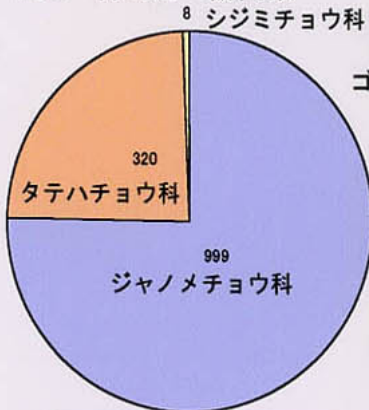
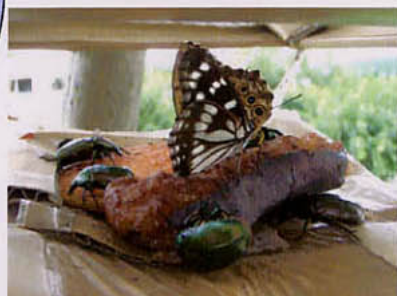


図2 科別延べ訪問数



平尾台には、約70種の蝶が確認されています。蝶トラップにはその内の12種が集まりました。草原のネザサやススキに発生するサトキマダラヒカゲやジャノメチョウ、サルトリイバラを食草とするルリタテハ等のタテハ類が殆どを占めています。餌はバナナやモモ、ナシなどの果物が中心で樹液に集まる虫たちもやってきます。今年土着種では無いウスイロコノマチョウもやってきました。甲虫ではカナブンに混じって、オオヨツスジハナカミキリも入りました。

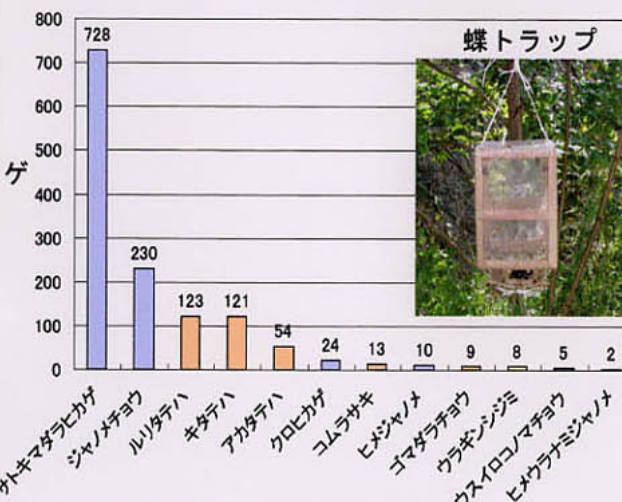


ゴマダラチョウ/サトキマダラヒカゲ



オオヨツスジハナカミキリ

図3 種類別延べ訪問数



ウスイロコノマチョウ

## ☆ イベント報告 ☆

### 「ノヒメユリ観察ハイキング」8月9日(日)

小雨模様の比較的涼しい、歩き易い観察会となりました。参加者の殆どがイベントのリピーターでしたが、ノヒメユリの観察会が初めての方が多くいました。ノヒメユリの開花は、例年より約1週間遅れましたが、当日は沢山のノヒメユリを観察する事が出来ました。他にも約30種の夏の野草が観察出来たので満足していただけたようでした。皆さん、小さくて可愛いノヒメユリの大ファンになったようでした。コースはセンター～見晴台～エノハの淵～茶ヶ床～見晴台～センター。(参加者：一般14人、ボランティア6人、スタッフ2人)



ノヒメユリ



### 「夏の虫観察」8月23日(日)

夏休み恒例の虫観察。三種類のトラップ(蝶・コオロギ・オサムシ)に掛かった虫や樹液、草原にいる虫を親子で観察しました。いつも子供達の虫を見つける目には感心します。今回は昨年見つけることが出来なかったナナフシも見られ、大喜びでした。(参加者：一般14人、ボランティア5人、スタッフ2人)



ショウリョウバッタモドキ

## ☆ イベント情報 ☆

### ● 草刈ボランティア

平尾台散策道の草刈整備のお手伝いです。  
開催日：平成21年9月の平日  
時間：9:30～12:00(日程は調整)  
定員：10名  
〆切：8月23日(日) 必着

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日：平成21年9月18日(金)  
時間：10:00～16:00  
対象：一般10名(材料費：2,000円)  
〆切：9月11日(金)

### ● 鍾乳洞探検(蒼龍窟)

鍾乳洞の中を探検する初心者ケイビング  
開催日：平成21年9月20日(日)  
時間：9:30～15:00(小雨実施)  
定員：20名(※小学4年生以上)  
参加費：高校生以上1500円、小中学生500円  
〆切：9月13日(日) 必着

### ● 平尾台 秋の虫観察

平尾台で見られる秋の虫を観察します。  
開催日：平成21年9月27日(日)  
時間：9:30～15:00  
定員：20名(※小学生以上)  
〆切：9月20日(日) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● 平尾台 野の花作品展

平尾台野の花の会の皆さんが作成されたアートフラワー作品を展示します。  
展示数：40点  
開催日：9月1日(火)～10月30日(金)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所：センター1F展示室

## 野の花スケッチ

ナンバンギセル (ハマウツボ科ナンバンギセル属)

南蛮煙管

8月中旬から9月にかけて咲くこの野草は、ヒョウキのようなピンクの花姿が南蛮人が持っていたキセルに似ていることから、名前がついたそうです。ススキ等のイネ科植物やミョウガ等に寄生する一年草の植物です。高さが20センチ前後で、平尾台ではススキの根元に見ることが出来ます。思い草との別名もあり万葉集にも詠われていて、古くから日本人とのかかわりがある野草です。

(進藤)



N. Shindo

## 平尾台の生きもの

### コロギス コロギス科

全身淡黄緑色で、背面は褐色。キリギリスとコオロギを足して2で割ったような昆虫。夜行性で、夜になると樹上を徘徊して他の昆虫を捕らえたり、樹液に集まったりする。日中は、樹上で口から出した糸で葉を重ねあわせて巣をつくり、その中にかくれている。体長の3倍もある長い触角を持つ。後脚は発達が比較的悪く、前、中脚と長さあまり差が無い。オスは翅を摩擦させて鳴く代わりに、おもに後脚で葉を叩いて音を出す。「タツタツタツタツタツ…」と聞こえるこの行動はタッピングと呼ばれる。

発生時期：7月～9月 体長：30mm 分布：本州、四国、九州  
(生態や特徴は、インターネット上のWikipedia等より抜粋)

8月13日センター中庭で日中に見かけた♀の個体



# 石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

## 平尾台の絶景

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載中。

## 等覚寺山

今回は、水晶山の南に隣接する等覚寺山(仮称)からの景色を紹介します。

等覚寺の北にある無名峰です。今後、センターでは等覚寺山と呼称します。



## ☆ イベント報告 ☆

### 「鍾乳洞探検(青龍窟)」9月20日(日)

東洞口～旧観光洞～小川入口～九大記念ホール(暗闇体験)を、3班に分けて探検しました。青龍窟までの行き帰りには、広谷や滝不動ドリーネにも寄りました。鍾乳洞の奥深く、つらら石などの鍾乳石を観察しながら、安全第一でケイビングを楽しみました。参加者全員がケイビングが初めてで、「暗闇体験など普段味わえない世界に感動した」「またケイビングに参加したい」などと好評でした。(参加者:一般21人、ボランティア5人、スタッフ2人)



### 「秋の虫観察」9月27日(日)

センター裏の丘で草原性の虫を調べました。午前には捕虫網と虫籠を持って虫を探し、午後から虫の名前を調べました。また、虫トラップ(わな)に集まった虫も調べました。カマキリ科3種(コカマキリ等)、バッタ科6種(セグロイナゴ等)、キリギリス科6種(ツユムシ等)、コオロギ科6種(スズムシ等)、その他10種などが観察出来ました。幸い前日に防火帯の草刈が行われた為、虫を見つけ易かったようです。(参加者:一般25人、ボランティア5人、スタッフ2人)



## ☆ イベント情報 ☆

### ● ススキ観賞ハイキング

平尾台のススキを観賞しながら、秋の草原をのんびり散策します。  
開催日:平成21年10月12日(月・祝)  
時間:9:30～15:00  
定員:30名  
〆切:10月5日(月)必着

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日:平成21年10月16日(金)  
時間:10:00～16:00  
対象:一般10名(材料費:2,000円)  
〆切:10月9日(金)

### ● 奇岩探検ハイキング

石灰岩の形や表情を観察するハイキングです。  
開催日:平成21年10月25日(日)  
時間:9:30～15:00  
定員:30名  
〆切:10月18日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● 平尾台 野の花作品展

平尾台野の花の会の皆さんが作成されたアートフラワー作品を展示します。  
展示数:40点  
開催日:9月1日(火)～10月30日(金)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所:センター1F展示室

## アカスジカメムシ

(赤筋亀虫) カメムシ科



## 平尾台の生きもの

名前の由来は写真を見ての通り。赤い筋には濃淡の変異があり、特に濃赤色のものは目を引きます。センター野草園のミツバの実やフィールドのセリ科植物の花や実に群がっている姿を良く見かけます。カメムシの間には臭腺と呼ばれるものがあり、捕まえたりすると悪臭のある分泌液を出します。捕食者に対する防御や仲間への警戒の役割があると考えられています。

発生時期:7月～9月 体長:9-12mm

分布:北海道、本州、四国、九州、南西諸島

セリ科植物(セリ、ヤブジラミ、シシウド、ニンジンなど)の花の蜜や種子の汁を吸う。

## 野の花スケッチ

ヒメヒゴタイ(キク科トウヒレン属) 姫平江帯  
草丈は30～150cm、上の方でよく分枝して長さ1.1～1.3cmの沢山の花を咲かせますが、総苞片(花を包んでいるもの)に花と同じ淡紅色の付属体がついており、蕾の時から美しいです。明るい草原に生えています。約2万年前の最後の氷河期に日本と大陸がつながっていた頃、大陸(満州、朝鮮)から渡って来た植物の一つだそうです。

秋風が気持ちのよい平尾台になりました。そんなヒメヒゴタイに会いに来てくださいね。(進藤)

RDB(環境省)絶滅危惧Ⅱ(福岡県)絶滅危惧Ⅱ  
北九州国定公園指定植物



# 石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

## 平尾台の絶景

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載中。

## 四方台



センターから北東方向に約3.7km(70分)の行程です。茶ヶ床からは約2.1km(40分)。

赤い点が展望ルートで、青のルートも良く利用されますが小穴からは急登です。緑のルートは静かな野草散策コースです。

北東側は水晶山や曾根干瀉、南東側は広谷台から行橋方面が見えます。しかし、なんと西側も西側から南に広がる平尾台はとて素晴らしい、特に小穴から大平山にかけて、ダイナミックな景観が堪能出来ます。貴山や四方台は花崗岩で出来ており、ヤマツツジやノヤナギなどが生育しています。また、ウメバチソウやムラサキセンブリ、リンドウなどの秋の野草が11月中旬まで、可憐な姿を楽しませてくれます。

真北に鎮座する貴山

ウメバチソウ

リンドウ

ヤマジノギク

センブリ

ホソバノヤマハハコ

## ☆ イベント報告 ☆

### 「ススキ観賞ハイキング」10月12日(月・祝)



ナンパンギセル

コース:センター～山神社～深窪～鞍外し～小穴～中峠～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。4班に分かれて散策。ススキは見頃を迎えており、観賞日和となりました。ススキに寄生するナンパンギセルがまだ根元に咲いており、ヤマジノギクやリンドウ、ムラサキセンブリ、ハバヤマボクチ、ヤマラッキョウなどの野草が花を添えてくれました。(参加者:一般38人、ボランティア11人、スタッフ2人)

### 「奇岩探索ハイキング」10月25日(日)

ボランティア企画イベント。コース:センター～山神社～深窪～茶ヶ床～エノハの淵～堂金山～不動山～不動坂～センター。参加者は、岩を眺め眺めつ動物の姿や顔、食べ物などに見えないか、熱心に観察していました。イヌやゾウといった動物が一番多く、中には明太子などの食べ物に見えた方もいました。参加者が撮影した写真は12月から1月に予定しているカルスト文化祭に出展して頂く予定です。(参加者:一般19人、ボランティア11人、スタッフ2人)



恐竜の頭

## ☆ イベント情報 ☆

### ●ムラサキセンブリ観賞ハイキング

秋の野草を観察しながらのハイキング  
開催日:平成21年11月11日(水)  
時間:10:00～15:00  
定員:20名  
〆切:11月4日(水)必着  
※おでかけ交通対応イベントです。

### ●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日:平成21年11月20日(金)  
時間:10:00～16:00  
対象:一般10名(材料費:2,000円)  
〆切:11月13日(金)

### ●落ち葉アート

落ち葉や木の実で作る自然工作  
開催日:平成21年11月23日(祝)  
時間:9:30～15:00  
定員:20名  
〆切:11月16日(月)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ●平尾台 いきもの写真展

センター職員が撮影した平尾台の「いきもの」の写真を展示します。  
展示数:約30点  
開催日:11月1日(日)～11月29日(日)  
(9:00～17:00) ※入館16:30まで  
場所:センター1F展示室

## 野の花スケッチ

ツワブキ(キク科ツワブキ属) 石路

草丈30～60cm、常緑の多年草で、腎心形の光沢のある葉を持っています。名前の由来も『葉に艶のある露』からきているそうです。花期は10月から12月です。葉をもむと独特の匂いがあり、平尾台では登山道沿いや集落の周りの森に生えています。花の少なくなった平尾台では鮮やかな黄色が目立っています。平尾台のすすきも白さを増し、山を覆う産毛のように優しく揺れていますよ。(進藤)



## 平尾台の生きもの キツネ(狐)

「平尾台自然の郷」前の市道で、車に轢かれて死んだみ狐です。死体は、「いのちのたび博物館」に学術用に引き取って頂きました。平成12年に現館長が目撃した事例はありますが生息数は非常に少ないようです。



分布:北海道、本州、四国、九州、淡路島  
頭胴長:60-75cm 尾長:40cm 体重:4～7kg  
生態:ノネズミ類、鳥類、大型のコガネムシ類等を捕食。果実類も食べる。春先に4頭程度の巣穴で出産し、夏まで家族で生活する。北海道産はキタキツネ、本州以南をホンダキツネと亜種で区別する。(参照:「日本の哺乳類」東海大学出版社)

## ルリウラナミジジミ (瑠璃裏波小灰) シジミチョウ科



ヤマハッカを吸蜜している青く輝く美しい蝶を発見。クズの花で育ったらしい。迷蝶の為、冬は越せない。数日後センターにも来館。分布:八重山諸島(石垣・西表島) 東南アジア、オーストラリア北部  
食草:マメ科クロヨナ、タイワンクズの花・蕾

# 石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

## 平尾台の絶景

平尾台の絶景ポイントから見える景色を不定期で連載中。

## 大かんの台



千貫岩駐車場から農道を南東方向にのんびり歩いていけます。頂からの展望は360度遮るものがありません。気軽に絶景を堪能出来るポイントです。訪れる人が少ないので静かな時を過ごすには良い場所です。しかし、7月から10月中旬まで、山頂付近は草が茂り手強いです。10月中旬には防火帯が出来るので歩き易くなります。付近では春から秋まで可愛い野草も楽しめます。

## ☆ イベント報告 ☆

### 「落ち葉アート」11月23日(月・祝)

今年で3回目のイベント。準備しておいた落ち葉と木の実で楽しい作品を創作しました。子供も大人も夢中になって、午前中の創作時間があっという間でした。午後からは、山神社～深窪までを落ち葉を踏みしめながら散策しました。作品の一部は、12月1日から開催するカルスト文化祭で展示します。(参加者:一般19人、ボランティア3人、スタッフ1人)



いただきまーす ねこちゃんのスペシャルクリスマス

## ヤマナシ (バラ科ナシ属) 山梨 落葉高木

平尾台にはヤマナシの木が僅かですが、ドリーネの中などに自生しています。桜の花よりやや遅れて白い爽やかな花を咲かせます。秋には直径4cm程の実がなります。少し甘みがあり、じゅりじゅりとした食感です。果物の梨は、このヤマナシから品種改良されたと考えられています。ヤマナシの実は野生生物の大切な食べ物です。



## ☆ イベント情報 ☆

### ● 鍾乳洞つウモリ観察会

鍾乳洞に棲むコウモリなどの生物を観察する  
開催日:平成21年12月6日(日)  
時間:9:30~15:00  
定員:20名  
〆切:11月29日(日)必着

### ● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。  
開催日:平成21年12月11日(金)  
時間:10:00~16:00  
対象:一般10名(材料費:2,000円)  
〆切:12月5日(金)

### ● ミニ門松作り

お正月用の小さな門松を作ります  
開催日:平成21年12月20日(日)  
時間:9:30~12:00(※雨天実施)  
定員:20名  
費用:高校生以上500円、小・中学生200円  
〆切:12月13日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

### ● カルスト文化祭作品展

皆さんから寄せられた平尾台に関する俳句・絵画・写真などを多数展示します。  
展示数:約30点  
開催日:12月1日(火)~1月30日(土)  
(9:00~17:00) ※入館16:30まで  
場所:センター1F展示室

## 草紅葉

11月11日



11月としては珍しい前日からの大雨で洗われた大平山の斜面です。雨で濡れると濃淡がはっきりして、ネザサと草紅葉がより美しくなります。渋い色合いの変化を見ていると俳句が詠めそうな風流な気分になります。麓の森の紅葉も少しずつ色合いが増し、落ち着いた平尾台です。「まるでスイスみたい。」とボランティアの方が言った言葉を思い出します。

## 野の花スケッチ

### ヒヨドリジョウゴ (ナス科ナス属) 鴨上戸

林の縁などに見られる多年草で、長い根茎があり葉柄で周りの草木に絡み付いています。下部の葉は切れ込みが多く3~5裂し、上部にゆくにつれて、卵形になります。葉には軟毛が蜜に生え、春の若葉では特に目立ちます。花は8月~9月に咲き、白色で径は1センチ、後に反り返ります。秋から冬にかけて8mm前後の赤いピカピカした実がなって、可愛いです。特に実の部分には毒があるそうです。(冬枯れの平尾台の草原は微妙な色彩のグラデーションがかり、これも見どころです。)

保護指定なし

(進藤)



## 平尾台の生きもの セアカヒラタゴミムシ

オサムシ科ナガゴミムシ亜科

センター敷地内でコオロギの死骸を運んでいたゴミムシの仲間がいたので写真を撮った。ところがフラッシュに驚いたのか、コオロギを放棄して逃げてしまった。折角見つけたご馳走だったのに悪いことをしてしまった。

コオロギの死骸

分布:北海道、本州、四国、九州、千島  
体長:15.5-20mm 肉食性(ミズや昆虫の幼虫等)  
発生時期:3~11月 幼虫で越冬  
体の背面の赤色部の変化が多い。平地から山地にかけて生息し、公園や人家周辺でもよく見られる。屋間は、草の根ぎわや落ち葉、石の下などに隠れていて、夜になると活動する。灯火にもよく飛んでくる。



11月4日